

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		台東デザイナーズビレッジ運営				所管	文化産業観光部 産業振興課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	5	計画事業名	台東デザイナーズビレッジ		事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] I-1. 産業の活性化					[事業開始] 平成16年度		
		[小 柱] (1) 中小企業の経営革新支援					[終了予定] - 年度		
		[施 策] ②創業・起業の促進							
	根拠法令等	条例・規則	〔法令等名〕		東京都台東区台東デザイナーズビレッジ条例、同施行規則				
	事業対象	直接の対象 : 現入居デザイナーおよび卒業デザイナー 最終的な対象 : ファッション雑貨産業							
	事業目的	創造的デザインを生み出す拠点として、新進デザイナーの活動を支援するとともに、関連企業との連携や交流を促進し、靴やかばん、アクセサリー等、台東区の地場産業であるファッション雑貨産業を活性化させる。							
事業内容 [29年度]	(1) 創業間もないデザイナーに対し、安価でオフィスを提供 (2) 入居デザイナーに対し、直接的なサポートを行うためのインキュベーションマネージャーの配置 (3) 経営や税務等の相談、セミナー、展示会等の実施 (4) 入居デザイナーを講師とした、区民向けワークショップ等の開催 (5) 卒業デザイナーへの情報提供(台東デザイナーズビレッジ事業や行政支援等)								
委託の有無	一部委託	委託内容		インキュベーションマネージャー(IM)業務、IM補佐業務、清掃業務、機械警備、各種保守点検業務等					
補助金の有無	都								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績		
	活動指標	セミナー、経営相談等の実施	回	5	5	3	4	5	80.0%
		入居事務所数	社	19	19	19	19	19	100.0%
	成果指標	卒業企業数・累計(廃業除く)	社	95	68	76	81	81	100.0%
		卒業生の区内定着数	社	3	1	3	3	2	150.0%
	決算額 (単位:千円)				27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)		8,421		9,809		9,218	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)		25,064		25,018		25,129	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)		156		39,410		145	
		総経費		33,641		74,237		34,492	
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)		19,321		28,353		28,358		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)		5,899		20,653		5,770		
	一般財源(区負担額)		8,421		25,231		364		
前回評価から29年度に改善した事項	インターネット上のウェブサイトへの記事掲載等による入居者募集告知に加えて、展示会や百貨店催事等、イベントでのパンフレット配布など年間を通じてPRを行ったところ、入居倍率が過去最高となった。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	ファッション関連分野の創業支援施設としての認知度が全国的に高く、毎年一定の高い入居倍率を保っている。29年度は入居倍率が過去最高であったことから、新進デザイナーへの支援として必要な施設である。						
	効率性	3	現状のコスト、人員により、施設の管理および入居企業および卒業企業へ一定の支援を行うことができる。						
	手段の適切性	3	施設管理等、ハード面については区が直営で運営し、入居者の指導・育成はインキュベーションマネージャーに委託するなど適切な手段を用いている。						
目的達成度	4	ほぼ全ての企業が入居中に事業を成長させ、卒業後は一定数が区内に定着するなど区の地場産業の活性化の一翼を担っている。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性			
入居者の事業はインキュベーションマネージャーの指導により着実に成長しており、ファッション関連の創業支援施設として全国的に高い評価を得ており、入居希望倍率も高い数値を保っているため維持とする。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	